

科目名	奥尻環境SDGs		学年・必修	3年	選択	使用教科書				
			単位数	4		使用副教材				
学習目標	1 環境科学・環境経済学・環境社会学の基本的な概念や原理・法則を活用し、環境についての課題に対する手立てを考えることができる。 2 さまざまな調査で意欲的に探究し、環境科学的な見方・考え方を身につけることができる。 3 資料や調査で得たデータを整理・考察し、様々な手法で表現することができる。									
学習方法	授業は全員で作っていくものです。自ら進んで課題に挑戦し、些細な疑問、質問、意見等は遠慮せずに発して下さい。ただし、私語は厳禁です。 その日に習った内容に関しては、必ずその日のうちに副教材を一読し、ノートを用いて復習しましょう。また、調査等の探究活動は、「やって終わり」ではなく、その後の考察や結果のまとめまでしっかりと取り組み、探究力を身に付けましょう。 【授業に持参する物】 □副教材 □ノート（ルーズリーフ可） □その他（服装等、校外調査の際に指示するもの） ※ 忘れ物は授業前に必ず伝えてください。 ※ 授業前には必ず必要な物を机の上に準備し、座席に着席すること。									
学習評価	学習評価			評価方法						
	評価の観点	科目の評価の観点の種目	評価方法	割合 (%)						
	a	関心・意欲・態度	身の回りの環境とその課題について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	1	授業での活動 授業に組み込む姿勢 グループワークの状況 ワークシートの取り組み状況	30				
	b	思考・判断・表現	調査等で探究する過程を通し、環境とその課題を科学的に考察し、導き出した考えを様々な手法で表現している。	2	プレゼン	各学習項目におけるプレゼンの内容	40			
	c	資料活用技能	環境に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている	3	提出物	プレゼンに利用した資料 研究レポート	30			
d	知識・理解	環境科学における基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけて活用している。	4		※定期考査は行いません。					
他教科との関連性	該当する単元（教科）		関連する教科・科目							
	飢餓をゼロに		家庭基礎							
肉をはじめとした動物性食品を摂取しない、いわゆる「ビーガン」について学ぶ。家畜の飼育にどれだけの穀物が使われており、それを人の食用に回すことでどれだけの飢餓を防ぐことができるのかを考え、ビーガンと飢餓の関連性について学ぶ。										
学期	月	単元名（教材）	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価		学習内容と学習のポイント	身に付けられる Okushirity 5.0		
					a	b	c	d		
前期	4	SDGs の概要	8	SDGs の理念や必要とされる背景について理解できる。SDGs に関連した国際的動向に興味関心をもつ。	○			○	SDGs の概念、具体的な内容、必要となる背景等、概要について学びます。	学びに向かう姿勢
	5	SDGs 17 の目標 ①貧困をなくそう ②飢餓をゼロに ③すべての人に健康と福祉を	12	各目標について調べ、それをまとめることでSDGs の具体的な内容について理解できる。					各目標について、その概要、日本や世界の言動、具体的な取り組み、自らの考え、アイデアについて取り上げたレポートを作成します。また、各月に1回ずつその内容に関連したプレゼンを行ってまいります。	情報活用能力
	6	④質の高い教育をみんなに ⑤ジェンダー平等を実現しよう ⑥安全な水とトイレを世界中に ⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに	14		探究心					
	7	⑧働きがいも経済成長も ⑨産業と技術革新の基盤をつくろう ⑩人や国の不平等をなくそう	10		思考・判断・表現力					
	8	⑪住み続けられる町づくりを ⑫つくる責任 つかう責任 ⑬気候変動に具体的な対策を	10		学びに向かう姿勢					
	9	⑭海の豊かさを守ろう ⑮陸の豊かさを守ろう ⑯平和と公正をすべての人に ⑰パートナーシップ	12		分析・判断力					
10	消費者、企業の取り組み	16	SDGs に関連した具体的な消費者の取り組みの例や、企業の取り組みについて理解し、自らの購買行動についてSDGs の観点から考察することができる。		○	○		○		SDGs に関連する取り組みの具体例を調べ、共感できる取り組みについて発表するとともに、今後どのような購買行動を心がけていきたいか考えたレポートとしてまとめます。
11	奥尻の現状・課題	14	SDGs の観点から奥尻の現状や課題について理解するとともに、新たなアイデアや今後の可能性について模索することができる。			○	○	奥尻の企業等での取り組みや自然環境などについて調べ、現状と課題を把握し、今後どういった取り組みが必要になるかを考えまとめます。	当事者意識	
後期	12	課題研究	18	これまでの学びを生かしSDGs に関する研究を行い、客観的データに基づいて自らの考えをまとめ発表することができる。	○	○		○	SDGs に関するテーマを設定し、それについての研究を行い、自らの取り組みや考えをまとめ、SDGs 探究AWARDS に応募します。	チャレンジ精神
	1				情報収集力					
	2	研究発表 論文制作	14	研究した内容を聞き手にわかりやすく伝えることができる。研究内容を文書として表現することができる。	○	○			12月1日で研究した内容を発表し、文書にまとめます。	発信力
3	SDGs の実現へ向けて	12	SDGs の実現に向けて、現状を把握しながら世界的に必要な取り組み等を考えることができる。			○		現在のSDGs の実現状況を調べ、今後の課題などについて考察します。	当事者意識	